

最終報告に向けた主な論点とスケジュール

1. 主な論点
2. スケジュール（案）

1. 主な論点

1. コロナ禍を踏まえた施設の在り方について ※今回の会議で検討

- 大学等ではオンライン化が進められているが、教育研究活動の変化やデジタルトランスフォーメーション（DX）を進めていく中で、キャンパスはどうあるべきか。
- 具体的にどのような施設整備が必要か。
- また、今後、新たな感染症や災害等の不測の事態が発生した際に、教育研究を継続するための備えとして、施設はどうあるべきか。
- 「イノベーション・コモンズ」との関係性をどのように考えるか。

2. 整備目標等について ※次回以降の会議で検討

- 「イノベーション・コモンズ」へと転換していくためには、老朽改善整備が必要であり、次期計画期間における整備目標と、それを達成するために必要となる所要額について、どのように考えるか。
- 「老朽改善整備」について、長寿命化の考え方を踏まえ検討する必要があるのではないか。
- 現行5か年計画で目標として掲げられている「新增築」「病院整備」をどのように考えるか。

3. 施設整備の促進方策について ※次回以降の会議で検討

- 国立大学等の施設整備は、国からの施設整備費補助金を基本的な財源としている一方で、多様な財源を活用した施設整備の更なる促進が必要であり、制度上・運用上の改善すべき点はあるか。
- 施設整備の促進のため、事例の横展開を図るべきものはあるか。
- 財源確保の必要性も含め、国立大学等に対する地方公共団体や産業界を含む社会全体に対してどのように理解増進を行うべきか。

2. スケジュール (案)

- 9月24日 第5回会議 (当会議)
- 9月末 R 3年度概算要求
- 10月26日 第6回会議 最終報告書 (素案)
- 11月30日 第7回会議 最終報告書 (案)
- 12月中頃 最終報告書とりまとめ
- 12月末頃 R 3年度予算案閣議決定予定
- 1～3月 文部科学省内検討会
- 3月 次期計画を策定 (文部科学大臣決定)